

# たびのキロク

2~6人 15分~ 8歳~

## ゲームの概要

旅から戻ったあなたたちがアルバムを作ろうとすると、AIがこう言いました。

「写真の説明は、画像解析して私が効率的に付けておきます」しかし、AIが付けるのは「海」「ラーメン」といった味気ない単語ばかり。

あなたたちはAIの目を盗み、自分たちにしか伝わらない「思い出の言葉（深層語）」で、写真の説明を上書き保存することにしました。

3回「失敗」する前に、用意したすべての写真にキャプションを付けましょう。AIの検閲に引っかかったり仲間に正しく伝わらなかったりすると、「失敗」としてカウントされます。失敗が「合計3回」に達すると、その時点でゲームは強制終了（ゲームオーバー）となります。AIの検閲は乗り越えつつ仲間には伝わるいい塩梅を探りましょう。

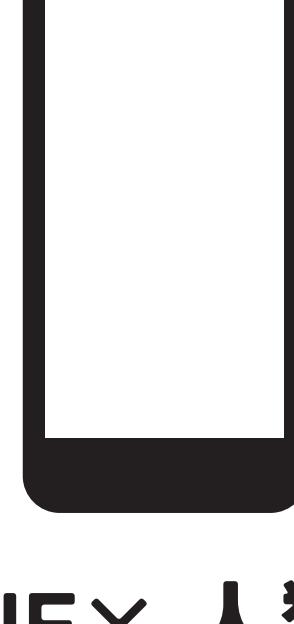
## 使うもの



キロクカード ×1



ゲームフロー ×1  
(ルール説明書の裏面)



LINE×人数分

## ゲームの準備

### ① LINEbot の友達登録

まずキロクカードの裏面に記載されているQRコードをカメラで読み取ります。このゲームの参加者は全員このLINEbotを友達登録してください。また、参加者全員がメンバーとなっているグループにこのLINEbotを招待してください。ゲームを始める準備ができたらグループで「/開始」と送信してください。

ださい。その後出てくるポップアップに従い入力を行ってください。

## ②写真のアップロード

「今回の旅」または「みんなの思い出」の中から、人数に応じて写真をアップロードします。

5人プレイ：15枚

それ以外：12枚

LINEbot の指示に従い、写真をアップロードします。

アップロードされた写真が、今回の「写真の山札（写真パル）」になります。

1枚の写真は、ゲーム中に1回だけ使われます。

成功してアルバムに入った写真も、失敗した写真も、山札からは取り除かれていきます。

※『たびのカメラ』で撮影した写真を使って遊ぶのもおすすめです。

## ③スタートプレイヤーの指名

写真をアップロードし、準備ができたら、「/写真確定」と送信してください。すると、bot が自動的に「最初の出題者」を指名します。指名されたプレイヤーは、「たびのキロクカード」を受け取り、自分の手元に置きます。このカードが、「いま誰が出題者か」を示すマーカーになります。

※コマンドを入力する必要があります。わからない時は「/ヘルプ」と入力してコマンドを確認してください。

## ゲームの流れ

以降のゲーム進行はすべて bot が管理します。

以下の流れを、「山札の写真がなくなる」か「失敗が3回に達する」まで繰り返します。

## ①出題者の指名

ラウンドの開始時、bot が「次は〇〇さんの番です」と出題者を指名します。「たびのキロクカード」を持っているプレイヤーは、指名された人にカードを渡してください。

出題者になったプレイヤーは、bot からの個別メッセージを確認します。

→ ここからの「写真選び」と「キャプション入力」は、そ

のプレイヤーだけに見える形で進みます。

## ②写真を選ぶ

出題者のスマホだけに、まだ使われていない「写真リスト」が表示されます。(すでにアルバム保存された写真やロストした写真は表示されません)

出題者は、その中から1枚だけ写真を選びます。この時点では、他のプレイヤーにはどの写真を選んだか分かりません。

## ③キャプションを書く (AIとの対決)

出題者は、選んだ写真に対してキャプション(説明文)を入力します。

条件：写真に写っているものを、そのまま言い当てるような言葉は使わないこと。

例：「海」「ラーメン」「青空」「駅のホーム」など、画像認識AIでも簡単に分かりそうな単語は避けてください。

### AIによる検閲(リティク判定)

キャプションを送信すると、bot(AI)が内容をチェックします。キャプションが「表層的すぎる」と判定された場合、その試行はリティクになります。

・リティク：2回まで書き直せます(同じ写真に対して最大3回挑戦可能)。同じ写真で3回連続リティクになると、そのラウンドは「失敗」となります。

失敗カウントが1つ増え、その写真は「思い出ロスト」として山札から破棄されます。この写真はアルバムには保存されません。

AIの検閲をパスできたら、次の手順へ進みます。

## ④みんなで当てる

AIの検閲を通過したら出題者はその旨を全員に伝えてください。そうしたらグループで「/状態」と送信してください。

フェーズが「回答受付中」とあれば出題者以外のプレイヤーは個別のチャットでbotに「/回答」と送信してください。そうすると回答が入力できるようになるので、出題者がどの写真を表現したのかを推測し、その写真のタグ(アルファベット)を送信して下さい。

## ⑤答え合わせと判定

全員の回答がそろったら bot が正解の写真と照合し、そのラウンドの結果を判定します。

・**全員正解（成功！）** 見事、出題者の「思い出の言葉」がチームに伝わりました。その写真とキャプションは「アルバム」に保存され、写真の山札から取り除かれます。失敗カウントは増えません。

・**不正解（失敗…）**

選んだ写真が正解と違っていた場合、そのラウンドは「失敗」になります。失敗カウントが1つ増え、その写真は「思い出ロスト」として山札から破棄されます。この写真はアルバムには保存されません。

ラウンド結果が表示されたら、再び①(次の出題者の指名)

ゲームの終了

**ゲームクリア（勝利）**

次の両方を満たしたとき、ゲームクリアとなります。

・写真の山札が0枚になっている（すべての写真をプレイし終えている）  
・失敗カウントが3未満である

条件を満たすとクリアです！作成されたアルバムを見返しながら、旅の思い出話に花を咲かせましょう。

評価ランク

失敗0回：パーフェクト・メモリー（伝説級の記録）

失敗1回：グレート・メモリー（素晴らしい記録）

失敗2回：グッド・メモリー（ギリギリの記録）

**ゲームオーバー（敗北）**

失敗カウントが合計3回になった瞬間、その場でゲームオーバーです。

.....残念ながら、あなたたちのアルバム作りはここで中断されてしましました。残りの写真の説明は、AIによる自動生成に奪われることになります。

## プレイのコツ & Q&A

AIに勝つためには、「写っていないこと」を書くのがコツです。

× AIにバレる言葉（表層語）

写っているものそのもの

海、山、料理、駅、電車など

青い、四角い、高いなど

○ AIが分からぬ言葉（深層語）

その時の感情

帰りたくなかった

お腹いっぱい

寒すぎた

起きた出来事

バスに乗り遅れた場所

財布を忘れた店

内輪ネタ

○○さんが寝てたところ

例の事件現場

「写真を見た自分たちだけが思い出せること」を、  
こっそり言葉にしていくイメージでキャプションを考えてみてください。

Q. カードは何のためにあるのですか？

A. 「たびのキロクカード」には2つの役割があります。

・QRコードから、ゲーム用のLINE BOTにアクセスするためのキー

・今、誰が「出題者（AIと戦っている人）」なのかを分かりやすく示すマーカー

BOTに指名されたら、必ず自分の手元にカードを置いてプレイしてください。

Q. 「失敗」になる条件をもう一度教えてください。

A. 次のどちらかが起きると、BOTが自動的に失敗カウントを1つ増やします。

・出題者がAIに言葉を弾かれ続け、同じ写真で3回連続リティクになったとき。

・回答者たちが選んだ写真が、出題者が選んだ正解の写真と違っていたとき。

**どちらの場合も、その写真は「思い出スト」として山札から取り除かれ、アルバムには入りません。**

**Q. 写真が破棄される（思い出スト）とは？**

**A. 「思い出スト」になった写真は、そのプレイではアルバムに採用されないことを意味します。**

**ゲーム的には「山札から除外された写真」です。**

**クリアするためには、失敗しても気落ちしすぎず、**

**残りの写真を確実に成功させていくことが大事になります。**